

宗門寺院と戦争・平和展

11月20日～12月8日
伝道院 お茶所で開催

宗門寺院の戦争記憶・記録を次代へ

宗門総合振興計画の一環として昨年春、全寺院対象の「宗門寺院と戦争・平和問題」アンケート調査が実施された。宗門寺院の戦争に関する基礎的事実を示す資料（文書、写真、墓碑、記念碑、遺跡など）の存在・所蔵をまとめて記録するため。寺院から貴重な情報3万件が寄せられ、その一部を紹介する「宗門寺院と戦争・平和展」が11月20日から12月8日まで本山・お茶所と伝道院で開催される。そこで、「宗門寺院の戦争記憶・記録を次代へ」と題し、調査の概略、展示内容などを戦時被災等調査委員会調査室の新田光子さんに執筆してもらった。



新田 光子

広島市中区・明教寺 梁徒。龍谷大学名誉教授。著書に『原爆と寺院—ある真宗寺院の社会史—』、『広島戦災児童成所と山下義信』（共に法蔵館）など。

寺院への戦争の影響 客観的視点から調査

宗門では戦時被災等調査委員会調査室を設け、2020年度当初から「宗門寺院と戦争・平和問題」調査を実施し、今年度が取りまとめの年となります。ご協力いただいた宗門寺院関係者に、あらためて心より感謝申し上げます。

調査結果の一部を「宗報」で報告しましたが、この展示を機に、ここで簡単に取りまとめます。

提供された情報 3万件にも及ぶ

調査では、3万件に及ぶ貴重な情報をお寄せいただきました。心からお礼申し上げます。その一部を今回、「宗門寺院と戦争・平和展」で皆さんにご覧いただけます。

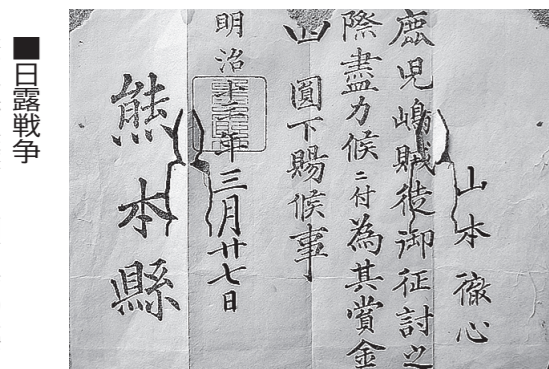
この展示では主に、寺院から提供いただいた「記録資料」を紹介しています。

■西南戦争

左の写真は、敗走する薩摩軍を追う官軍が、熊本県八代市の西福寺に一時宿泊した謝礼として1880(明治13)年に「4円下賜」があったことを示す資料です。現在まで同寺に大切に保存されています。

明治初期まで遡り 「近代日本」を知る

調査内容は、近代日本における戦争の歴史を念頭に置き、①戊辰戦争・西南戦争の時代②日清・日露戦争から第一次世界大戦までの時代③満州事変から日中戦争の時代④アジア・太平洋戦争の時代⑤戦後、の5つに分け、当時、寺院が関わったであろう事項について質問しました。満州事変以降の、いわゆる15年戦争期に限定せず、近代日本の戦争全体に広げたいことで、宗門にとっても、また学術的にも、有益な情報を得ることができました。



■日露戦争
奈良県五條市・明西寺の境内にある「日露戦役記念」の碑。

寺院資料から見る近代日本の戦争



■日中戦争②
北海道様似町の法敬寺の境内に1937(昭和12)年、ある門徒によって追悼墓石が建立された時の写真。33(昭和8)年、41(同16)年、44(同19)年と、この家は3人の戦死者を出しました。この墓石は98(平成10)年に



1907(明治40)年4月に建立され、建立者18人の名前が刻まれています。

■日中戦争①
福岡市中央区の光園寺。幕が張り巡らされており、出陣法要と思われま。1936(昭和11)年9月25日、当時の法務員であったS氏が撮影。S氏も中国戦線に向けて旅立ちました。



■アジア・太平洋戦争②
島根県大田市の西性寺に疎開した大阪市桑津小学校の児童。「桑津国民学校第二白銀寮」の看板が掛かっています。1945(昭和20)年5月25日から11月15日まで児童31人が疎開し、そ



た集合写真。全員が「大日本国防婦人会」のたすきを掛けています。

■アジア・太平洋戦争①
愛媛県四国中央市の心光寺から提供。伊予土居駅の駅舎前で1942(昭和17)年12月に撮影



墓地に移動しました。

■日中戦争③
兵庫姫路市・明泉寺から提供。1940(昭和15)年、「紀元2600年」として撮影され

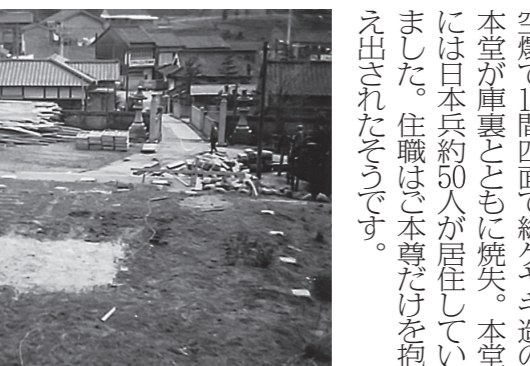


の期間中に1人が亡くなっています。

■アジア・太平洋戦争③
北九州市門司区の正蓮寺。1945(昭和20)年6月、米軍の空爆で11間四面で総ケヤキ造の本堂が庫裏とともに焼失。本堂には日本兵約50人が居住していました。住職はご本尊だけを抱え出されたそうです。



■平和の取り組み
1945(昭和20)年8月初旬、米軍機の機銃掃射を受けた鹿児島県曾於市の覺照寺。本堂の屋根瓦392枚が損傷しました。その銃弾(長さ408mm)が2015(平成27)年、天井裏から発見され、平和を願う本堂に展示されています。



現在まで寺院に伝わる記録資料は、戦死者、建物疎開、学童疎開、梵鐘・仏具供出、空襲、原爆などに関してさまざま、いずれも戦争の跡を色濃く記録しています。今回の展示をご覧いただいた皆さまのご意見・ご感想も報告書公刊(来年1月に発行予定)に反映していきます。できるだけ多くの意見を掲載していきたいと思っておりますので、来場をお待ちしています。

入場無料。開館時間は午前10時～午後4時30分(入場は午後4時まで)。